



ウッドショックを契機とした丸太の安定供給体制の構築

経済産業部 森林・林業局

ウッドショック等で高まる国産材回帰の動き

次々と変化する海外情勢

<ウッドショックの発生>

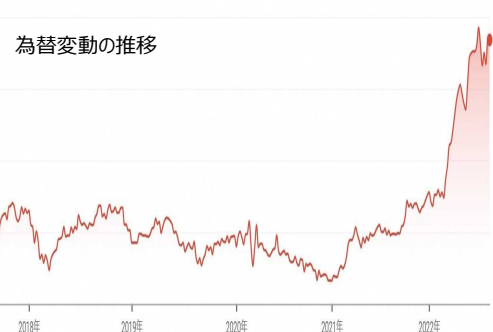
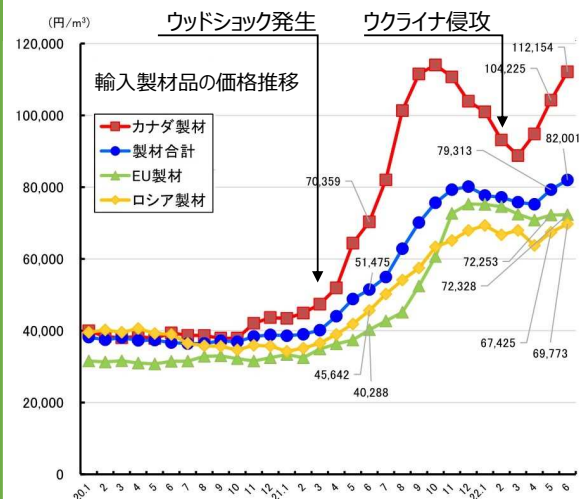
○米国・中国を中心とした木材需要の急激な回復による調達難の発生

<ロシアによるウクライナ侵攻>

○経済制裁の発動に伴うロシア産木材の輸入禁止による調達への不安の広がり

<急速に進む円安>

○円安による輸入製材品の価格上昇



外国産材の調達リスクの顕在化

住宅メーカーへ国産材転換を促す好機

国産材の安定供給体制が求められている。

生産団地の設定と生産基盤の先行整備

生産団地の設定

33 団地

〔点群データから算出した資源量
所有者の伐採意欲
などの森林情報等を活用〕



航空レーザー計測

中長期計画の作成
所有者の施業承諾

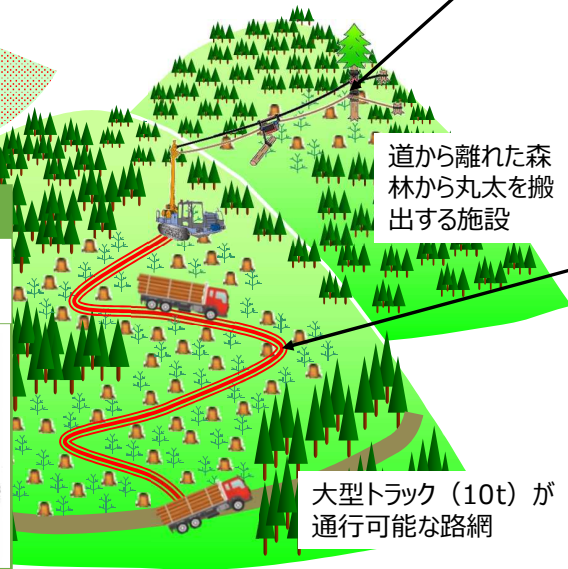
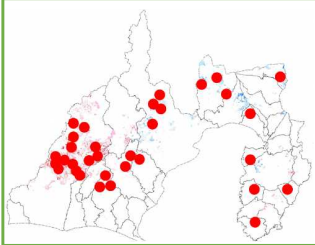


生産基盤の整備

19
万m³
ストック

R 4 生産団地の状況

○ 団地数 : 33 地区
○ 面積 : 約 23 千 ha



道から離れた森林から丸太を搬出する施設

大型トラック (10t) が
通行可能な路網

架線集材施設

R3~4 : 12,091m(23箇所)



基幹的作業道

R3~4 : 25,030m(25路線)



需要変動に対応する丸太供給の実行

伐採の実施



ストック

大型トラックによる運搬 (基幹的作業道)



ウッドショックで丸太不足に
陥る製材工場等に供給

需要変動に即応した
丸太生産

製材工場



合板工場



住宅等

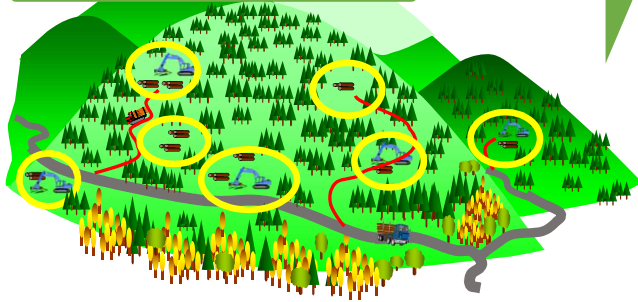


生産団地方式で持続可能な丸太供給に転換

単発的な丸太供給

- 都度、森林所有者の承諾
- 路網等の開設に時間を要する
- 伐採作業に切れ間が生じる

所有形態が小規模・分散化した森林で、個別に丸太を生産

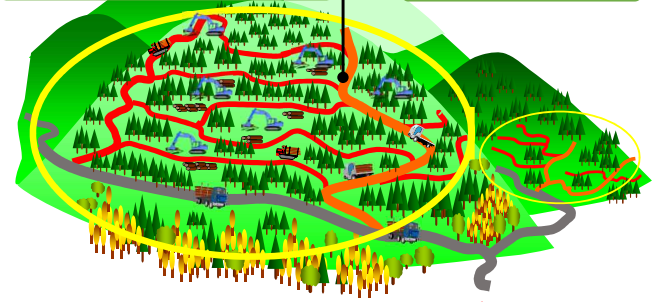


持続可能な丸太供給

- 森林情報等（資源量・伐採意欲など）を踏まえて団地設定
- 年間を通じた安定的な丸太供給
- 生産基盤の先行整備で、丸太を即納

あらかじめ施業地を確保し、安定的に丸太を生産

路網や架線等の先行整備



林業経営体の意欲的な取組が進んでいる

持続可能な丸太供給の取組を
全県に拡大

丸太の安定供給の実現による林業のグリーン成長

- 丸太の需要変動を契機に外国産材から県産材に転換
- 「伐って、使って、植える」の循環利用を拡大

<森林の多面的機能の持続的発揮>



2050年カーボンニュートラルを見据えた豊かな社会経済の実現